

平成28年度授業改善推進プラン

清瀬市立清明小学校第4学年

	学力調査から見た課題(調査のない教科は授業における課題)	授業改善のための具体策(重点)	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字の字形があまり定着していない。また、漢字の部首名や漢字の意味の習得ももう少しである。</li> <li>・テーマに合わせて内容を考えたり、文章を書くための段落を構成する力が、不足している児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の時間に意味調べの時間を増やしたり、日常生活で意味の分からない言葉を、なるべく辞書を活用して解決するようにする。</li> <li>・日頃の経験からの日記を書く機会を多く設定する。文の構成の仕方について、指導を繰り返し行う。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の消防設備調べや消防署見学に行き意欲的に活動し、熱心に話を聞く様子も見られる。自ら必要な資料を見つけ出し、その中から必要な情報を取捨選択するといった力が不足している。</li> <li>・地域での活動や、登下校の道路等の標識などへの意識に差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や写真、グラフなどの情報から何がわかるのかきちんと捉えさせ、調べ学習などでどんな情報が必要なのか考える練習をしていく。また、普段の生活に関わる内容であることを意識させ、学習と生活をつなげる視点をもたせていく。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算スピードや正確性の差が大きい。</li> <li>・手先の不器用さなどから、コンパスや分度器の扱い方を苦手とする児童が見られる。</li> <li>・基本的なことは理解できていても、応用・活用的な問題にあてはめて考えることを苦手としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算練習に取り組み、児童の計算のスピードや正確性を向上させる。</li> <li>・授業に限らず、模様や作図する際に積極的にコンパスや分度器などを使うことで、用具に慣れる機会を増やしていく。</li> <li>・問題をきちんと読み、題意を的確にとらえさせる。そのうえで、図などを書いてイメージをつかめるような問題を取り上げ、児童同士の話し合いを組み込みながら取り組む。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察などに興味をもって意欲的に活動する児童が多く見られる。それについての理科的な考察では、表現に戸惑う児童が見られた。</li> <li>・用語の定着や漢字できちんと用語を書くことが苦手な児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味や意欲は大切にしつつ、何を学ぶための実験・観察かを明確にし、考察の視点を示し活動に取り組めるようにしていく。</li> <li>・用語の小テストなど実施して、理科で学習した漢字については書くことができるようにする。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うことに課題がみられる。</li> <li>・曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏することに課題がみられる。</li> <li>・音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくることに課題がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二部合唱を多く取り入れ、聴き合う場の設定や、声を合わせやすい発声になるように工夫する。</li> <li>・楽器の奏法を学習し、曲想に合わせた表現の工夫をする学習を多く取り入れる。</li> <li>・イメージをふくらましやすいテーマや楽器を設定し、音楽づくりをする学習を多く取り入れる。</li> </ul>	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材に興味を持ち、楽しみながらつくることができる。</li> <li>・既習事項を生かして自分で思いつく、あるいは新しい表現方法にチャレンジしようという意欲がもっとほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が達成感を感じ、次への意欲につながるような課題を設定する。</li> <li>・自己肯定感を高めるよう声掛けを行う。</li> <li>・スモールステップで技能面の幅を広げ、それを表現への意欲につなげる。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意なこと、体を動かす楽しさだけに意識が向きがちで、どのように体を動かしたら自分の力になるのか、どのように関わっていったらチームのためになるのかの判断が疎かになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組む運動のめあてを毎時間確認することや、単元が進むことで深まる学習内容の工夫をしていく。また、児童が自分で高まりを感じた場面などを取り上げ全体に広める。</li> </ul>	